

グリーン水素科学と提案・グリーン水素タウン構想

水素は、高エネルギー効率、低環境負荷であるため、将来の二次エネルギーの中心的役割を期待されている。2014年4月に閣議決定された「エネルギー基本計画」でも、水素社会の実現に向けた取り組みを加速することが定められ、「水素・燃料電池戦略ロードマップ」では、水素需要の拡大や水素サプライチェーン構築の一体的な取り組みの必要性が示された。また、再生可能エネルギー由来の（グリーン）水素については、「2040年に安価で安定的にかつ低環境負荷で水素を製造する技術を確立し、トータルでCO₂フリーな水素供給システムの確立を目指す」としている。

本講座では、グリーン水素に関する解説とバイオマスグリーン水素コンソーシアムでの取り組みについて、わかり易く解説する。

① 11/10 (金)	グリーン水素タウン構想「環境」 「健康」「食」「観光」「人材」	三木 康臣 地球環境工学科
② 11/14 (火)	バイオマスによる水素製造及び 水素輸送	金辺 民朗 元JFEエンジニアリング
時 間：18:30～20:00 定 員：50名 場 所：多目的講義室（総合研究棟2階） 対 象：高校生以上及び本学学生 参加費：貳千円（テキスト代）、但し、先着20名迄。なお、テキスト不要 の場合は無料 テキスト：日本太陽エネルギー学会「グリーン水素科学」使用 申込期限：11月8日（水）		

お問合せ・申し込み先：北見工業大学 研究協力課地域連携担当
☎ 0157-26-9158 E-mail: kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp